

ネットワークゾーン内のネットワーク管理レコード

Note

共同ネットワークに関するオンラインヘルプページへのリンクについては、「[共同ネットワーク](#)」を参照してください。

共同ネットワークのメンバー機関で作業する場合、機関またはネットワークレベルのいずれかで書誌および典拠レコードを管理できます。

- (さまざまな手順で)新しいレコードを作成またはインポートする場合、機関またはネットワークでのレコード管理を選択できます。管理者は、ネットワークのみで管理されるレコードを制限できます。
- ローカルレコードをネットワークレコードにコピー(共有)できます。これにより、ネットワーク管理のレコードが作成され、ローカルレコードがそれにリンクされます。レコードを作成する前に、Almaは既存のネットワーク管理レコードとの一致を試みます。ローカルレコードを既存のネットワーク管理レコードにリンクすることもできます。また、コミュニティゾーンレコードを(リンキングなしで)コピーして、ネットワーク管理レコードを作成できます。

リンクされたネットワークレコードに加えられた変更は、ローカルレコードに自動的に反映されます。レポート内のリンクされたレコードに関連するアクティビティの情報を表示できます。

- 同様に、ネットワークから機関にレコードをコピーして、リンクされていない新しいローカルレコードまたはネットワーク管理レコードにリンクされた新しいリンク済ローカルレコードを作成できます。
- ネットワークレベルで管理されるレコードにローカルフィールドを追加できます。このように、レコードの情報の一部はローカル機関でしか表示されません。ネットワークレコードに拡張機能を追加すると、ローカルのリンクされたレコードが自動的に作成されます。
- リポジトリ検索は、機関、コミュニティ、またはネットワークレコードに対して実行できます。図書館による通常の制限に加えて、目録管理グループを設定して、機関による電子資源へのアクセスを制限できます。「[共同ネットワークでのリポジトリ検索](#)」を参照してください。
- 目録管理グループを使用して、機関による目録へのアクセスを制限または有効化できます。詳細については、「[ネットワークゾーンの操作時の電子資源への配布アクセスの設定](#)」を参照してください。

ネットワークゾーンでの目録作成の説明ビデオについては、以下を参照してください。

- [ネットワークゾーン内の目録作成アクティビティ、パート1：編集、コピー、および共有](#)
- [ネットワークゾーン内の目録作成アクティビティ、パート2：インポートプロファイル](#)

新しい書誌レコードの作成場所の選択

Almaには、新規のレコードまたはインポートされたレコードをローカル機関またはネットワークゾーンに作成または保存するオプションの場所がいくつかあります。これらの場所はこのセクションにリストで表示されています。

- 機関ゾーンからインポートされたレコードは、ローカルリポジトリまたはネットワークゾーンリポジトリのいずれかにインポートすることができます。ネットワークゾーン管理者は、コンソーシアムのどのメンバー機関がネットワー

クゾーンリポジトリにレコードをインポートできるかを決定する権限を持っています。この設定は、ネットワークゾーン機能 ([Alma設定 > リソース > レコードのインポート > ネットワークへのインポートの制限](#)) で利用できます。

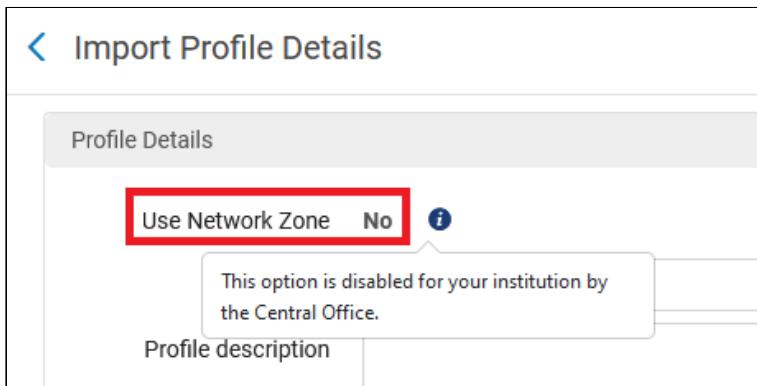


ネットワークへのインポートを制限する

ネットワークゾーンにはすべてのメンバーのリストがあり、トグルボタンをONにすることで、各メンバーがネットワークゾーンリポジトリにレコードをインポートできないように制限することができます (



)。メンバーの視点 (コンソーシアムの一部としての機関ゾーン) では、新しいインポートプロファイルが設定され、メンバーがネットワークゾーンで制限されている場合、構成は次のように表示されます。



制限付きメンバー (機関ゾーン) インポートプロファイル

Note

この新しい動作は既存のインポートプロファイルには影響せず、新しいインポートプロファイルにのみ影響します！

ネットワークゾーンがそのリポジトリへのインポートを制限していない場合、メンバー機関に勤務している管理者は、**central_record_management**パラメータの設定により、これらのオプションのうちどれがデフォルトで選択されるか (**DEFAULT_INSTITUTION**または**DEFAULT_NETWORK**) を変更したり、ローカル機関へのレコード追加機能を無効にしたり (**ENFORCE_NETWORK**) できます。詳細については、「[その他の設定](#)」のパラメータを参照してください。

次の場所は、新しいネットワークレコードを作成または保存するために使用されます。

- レコードのインポート：リポジトリタイプのインポートプロファイルを設定する場合、[ネットワークゾーンの使用]を選択してネットワークゾーンへレコードをインポートします。**central_record_management**が**ENFORCE_NETWORK**に設定されている場合、[ネットワークゾーンの使用]は[はい]に設定され変更できません。

インポートプロファイルの詳細

同様に、一致する記録がないときに何をすべきか選択する際に、通常のオプション[インポートしない]と[インポート](機関への)に加えて、[NZに追加]を選択して記録をネットワークゾーンにインポートできます。詳細については、「[インポートプロファイルの管理](#)」を参照してください。

ユーザー主導の受入(PDA)ロードファイルを使用して記録をインポートする場合の手順は同様です。詳細については、「[ユーザー主導の受入](#)」を参照してください。

- 同様に、OCLC Connexion統合プロファイルを作成して記録をインポートする場合。「[OCLC Connexionからの記録のインポート](#)」を参照してください。

Note

OCLC Connexion統合プロファイルでは、[ネットワークゾーン記録を使用]オプションは、既存のネットワークゾーン記録と一致しない場合にのみ、ネットワークゾーンに記録をインポートします。ネットワークゾーン記録との一致が見つかった場合、ネットワークゾーン記録が使用され、記録はOCLC記録と統合されません。

- 新しい書誌記録の作成：MDエディタで、新しい記録とテンプレートの配置]パラメータ(記録アクション] > [オプション])で[ネットワーク]を選択して、ネットワーク管理の記録として新しい記録を追加します。「[\[MDエディタ\]ページのナビゲート](#)」を参照してください。(管理者がnetwork_labelパラメータを設定する場合、オプション[ネットワーク]は何か他のものとして表示されることがあります。「[その他の設定](#)」を参照)。**central_record_management**が、**ENFORCE_NETWORK**に設定されている場合、[新規記録とテンプレートの作成]パラメータは無効で、デフォルトの[ネットワーク]に設定されます。

[MDエディター-記録 アクション] > [オプション ダイアログ ボックス]

- ポートフォリオ/冊子/デジタル表現を手動で追加：冊子の詳細を追加するための関連ページに[新しい記録の配置]フィールドが表示されます。ネットワークゾーン内の記録を作成するには[ネットワーク]を選択します。(ラベルネットワークは、network_labelパラメータを設定することで、何か他のものとして表示されることがあります。「[その他の設定](#)」を参照)。**central_record_management**が、**ENFORCE_NETWORK**に設定されている場合、[新しい記録の配置]パラメータは無効で、デフォルトの[ネットワーク]に設定されます。

[新しいポートフォリオ]ページ

詳細については、「[スタンドアロンポートフォリオの追加](#)」、「[冊子リソースの追加](#)」、または「[デジタル資源の作成](#)」を参照してください。

- ポートフォリオローダーを使用したポートフォリオの追加：[目録選択]フィールドのアクティベーションウィザードの書誌エリアで、[ネットワーク]を選択してネットワークゾーンにポートフォリオの書誌レコードを作成します。**central_record_management**が**ENFORCE_NETWORK**に設定されている場合、[目録選択]は無効で、デフォルトの[ネットワーク]に設定されます。

アクティベーションウィザード：[ファイルアップロード]ページ

ネットワークゾーンで一致するものが見つからない場合、レコードはネットワークゾーンに追加され、ポートフォリオがレコードにリンクされます。ネットワークゾーンで書誌レコードの一致が1つ見つかり、そのレコードへのリンクが作成されます。ネットワークゾーンで複数の一致が見つかった場合、レコードは作成されず、マニュアルでの処理が必要になる場合があります。詳細については、「[Excelファイルを使用してローカルポートフォリオを一括追加、更新、または削除](#)」を参照してください。

ネットワークでの検証例外プロファイルの使用

検証例外プロファイルの使用と設定に関する情報については、「[検証例外プロファイルの使用](#)」を参照し、共同ネットワークに特定の詳細について、次のセクションを参照してください。

ネットワークでの正規化ルールの使用

メンバー機関から[ローカルフィールドを追加]を使用してレコードが追加されたローカルフィールドは、正規化ルールを使用してアップデートまたは削除できます。詳細については、以下の「[MARC 21書誌正規ジョブを使用したローカルフィールドの管理](#)」を参照してください。

ネットワークゾーンレコードへのローカルフィールドの追加の防止

デフォルトでは、MDエディタを使用してローカルフィールドをネットワークゾーンレコードに手動で追加すると、警告メ

メッセージが表示されます(エラーメッセージではありません)。ただし、**検証例外**プロファイルを使用すると、これらの追加を防止し、警告メッセージの代わりにエラーメッセージを表示するようにAlmaを設定できます。

ネットワークゾーンレコードへのローカル?更を保存しないようにAlmaを設定するには：

Note

この設定は、ネットワークゾーンで完了する必要があります。

1. [メタデータの設定リスト]ページ(「[目録作成の設定](#)」を参照)で、プロファイル列の[MARC 21書誌]リンクを選択します。
2. [検証例外プロファイルリスト]タブを選択します。
3. [保存時のMARC XML書誌メタデータ編集]プロファイルには、[アクション]>[編集]を選択します。
4. [検証重要性プロファイル例外]ページで、[重要度例外の妥当性検証を追加]セクションで[ローカルフィールドはネットワークレコード上では追加できない]を選択し、[重要度例外の妥当性検証を追加]を選択します。

検証例外プロファイルの変更を完了し、ユーザーがローカルフィールドをネットワークゾーンレコードに追加しようとする、ユーザーはレコードを保存できなくなり、[アラート]タブにエラーメッセージが表示されます。

ローカルおよびネットワークゾーンの書誌レコードのコピーおよび/またはリンク

ネットワークゾーンにローカル書誌レコードを提供する前に、ネットワークゾーンの検証ルーチンに基づいてレコードへの変更の検証を選択することができます(「[検証手順の編集](#)」を参照)。ローカルレコードをネットワークゾーンレコードに個別または一括でリンクできます。ローカルレコードを個別にリンクする場合、変更を有効にするには、レコードを保存する必要があることに注意してください。

ネットワークゾーンにコピーする前にレコードを?証するには：

- MDエディタでローカルレコードを編集する場合は、[ツール]>[NZで検証]を選択します。この機能は、ローカル機関でのレコード検証([レコードアクション]>[検証])と同様ですが、検証はネットワークゾーンの検証手順に対して実行されます。

既存のローカルレコードをネットワークゾーンレコードにリンク(および場合によっては作成)するには：

- MDエディタでローカルレコードを編集する場合は、[レコードアクション]>[ネットワークと共有]を選択します。**central_record_management**が**ENFORCE_NETWORK**に設定されている場合(「[その他の設定](#)」を参照)、[ネットワークと共有]オプションは、ほとんどのレコードには表示されません。このオプションは、まだネットワークゾーンの一部ではない移行済みレコードに対して引き続き表示されます。ネットワークゾーンで一致が見つかった場合、一致をプレビューするか、複数の一致から選択できます。希望の一致するレコードの下の[リンク]を選択して既存のネットワークゾーンレコードに機関レコードをリンクします。一致するものが見つからない場合、機関レコードは新しいネットワークゾーンレコードにリンクされます。[保存]>[レコードを保存してリリース(Ctrl+Alt+R)]を選択して、リンクされた機関ゾーンレコードをAlmaに表示します。

Note

ネットワークゾーンと機関の間で設定が異なる場合には、ネットワークと共有の機能は動作しないことがあります。ネットワークゾーンと機関の両方に同じ一致プロファイルを選択する必要があります。「[一致方法 - 説明と例](#)」を参照してください。

ネットワークゾーンにリンクする前のレコードのバージョンを表示するには、古いメタデータエディターから、**[ツール]>[元のレコードのバージョンの表示]**を選択します。

既存のローカルレコードをネットワークゾーンレコードに一括してリンクするには、**[レコードのセットをネットワークゾーンにリンク]ジョブ**を実行します。詳細については、[\[定義済みセットでのマニュアルジョブの実行\]](#)ページの「[レコードのセットをネットワークゾーンへリンク](#)」を参照してください。

Note

ジョブがネットワーク内で一致するレコードを見つけたが、このネットワークレコードがコミュニティにリンクされている場合、機関レコードはコミュニティレコードにリンクされています。新しいネットワークレコードは作成されません。

既存のネットワークゾーンレコードにリンクされた新しいローカルレコードを作成するには：

- 新しいローカルポートフォリオを作成する場合は、**[作成タイプ]**の**[既存のタイトルを使用]**を選択します。**[新しいレコードの配置]**フィールドはページから削除されます。ネットワークゾーン(またはコミュニティゾーン)内のレコードを選択するには、**[タイトルの選択]**フィールドを使用します。ネットワークゾーンレコードを選択すると、ネットワークゾーンレコードにリンクされた新しい機関レコードが作成されます。
- 新しいローカルデジタル表現を作成する場合は、**[既存]**を選択して**[タイトル]**フィールドを使用して、ネットワークゾーン内のレコードを選択します。
- 冊子を作成する場合は、**[所蔵タイプの選択]**ダイアログボックスで**[既存]**を選択してから、**[クイック目録作成]**ページの**[タイトル]**フィールドを使用してネットワークゾーン内のレコードを選択します。

(レコードをリンクせずに)ネットワークゾーンレコードをローカルレコードへコピーするか、ローカルレコードおよびネットワークゾーンレコードのリンク解除をするには：

- MDエディタでネットワークゾーンレコードまたはリンクされたレコードを編集する場合、**[レコードアクション]>[目録にコピー]**を選択します。その結果、レコードのリンクされていないローカルコピーと、レコードのネットワークゾーンコピーが得られます。

コミュニティゾーンレコードを新しいネットワークゾーンレコードにコピーするには(レコードをリンクせずに)：

- コミュニティゾーンレコードの[シンプルな\[レコードビュー\]ページ](#)(コミュニティゾーンの**[全タイトル検索]**を実行し、レコードタイトルを選択)で、**[ネットワークにコピー]**を選択してレコードをネットワークゾーンにコピーします。

ネットワークゾーン内の書誌レコードへのローカル拡張機能の追加

- 目録オペレータ

- 目録 マネージャー

ネットワークゾーンで保持されている書誌レコードに対して、ローカル拡張機能を追加および編集できます。ローカル拡張機能は、ローカル情報を入力する場所を提供すると同時に、他のネットワークゾーンメンバーのネットワークゾーンレコードの元のバージョンと継続的なアップデートバージョンの整合性を維持します。

具体的には、MARC 21 77X/78X、09X、59X、69X、および9XXフィールドにローカル情報を入力できます。以下の[MDエディタを使用したローカル拡張機能の追加](#)で説明があるように、ローカル情報はMDエディタのローカル拡張機能の追加オプションを使用して追加する必要があります。

UNIMARCメタデータを使用しているネットワークメンバーについては、ローカル拡張機能はUNIMARC X9X、XX9、および9XXフィールドでサポートされています。

Note

- ローカル拡張機能は、ネットワークごとに一度に1つのメタデータフォームのみがサポートされます。つまり、ネットワークのメンバーはUNIMARCローカル拡張機能またはMARC 21ローカル拡張機能を使用できますが、両方は使用できません。
- メンバーがNZレベルの拡張パックを持つMARCプロファイルのネットワークゾーンレコードを編集する場合、標準フィールドをカタログ化する場合にのみ、NZ拡張パックの制御された語彙部分が利用可能になります。メンバーがIZレベルの拡張パックを持つMARCプロファイルの機関ゾーンレコードを編集する場合、ローカル拡張フィールドをカタログ化する場合のみ（機関アイコン付き



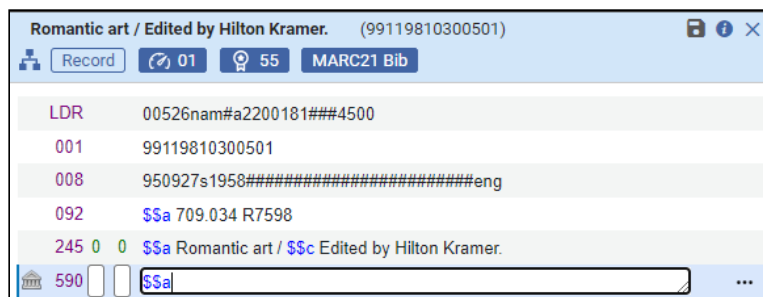
)、IZ拡張パックの制御された語彙部分が利用可能になります。

MDエディタを使用したローカル拡張機能の追加

MDエディタで作業している場合、ネットワークゾーンレコードのローカルフィールドは図書館アイコンで識別されます。

MDエディタを使用してネットワークゾーンレコードにローカルフィールドを追加するには：

1. MDエディタでネットワークゾーンレコードを開きます。
2. **[編集アクションの編集]>[ローカル拡張の追加]** を選択して、ローカルフィールドを入力します（サポートされているMARC 21 / UNIMARC ローカルフィールドについては、上記を参照してください）。



ローカルフィールドとして追加された59Xフィールド

ローカルフィールドは、メンバー機関のみに追加および表示され他の機関には追加、表示されません。

Note

ネットワークゾーンレコードの場合、「ローカル内線番号の追加」オプションはメンバーの機関ゾーン MDエディターでのみ使用でき、ネットワークゾーンMDエディターでは使用できません。

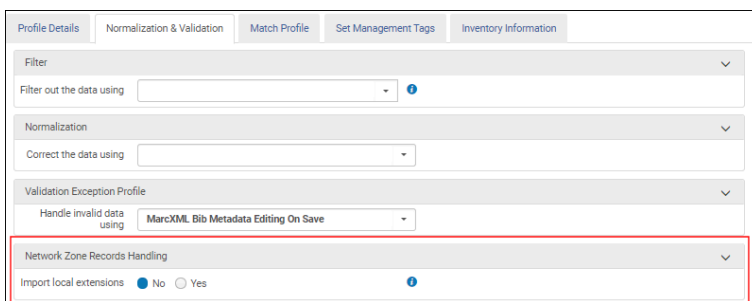
Note

[編集]>[フィールドの追加]機能を使用して、ローカルフィールドをネットワークゾーンレコードに追加しないでください。実際には、Almaはこの状況が発生しないように設定する必要があります。詳細については、「[ネットワークゾーンレコードへのローカルフィールドの追加の防止](#)」を参照してください。ローカルフィールドを追加するには、[編集]>[ローカル拡張機能の追加]機能のみを使用してください。

サブフィールド\$9は、ネットワークゾーンレコードのローカル拡張では使用しないでください。

インポートを使用したローカル拡張の追加

ネットワークゾーンメンバーがリポジトリ、目録更新、新規注文、デジタルタイプのインポートプロファイルの [プロファイルの詳細] セクションで [ネットワークゾーンの使用] オプションを選択すると、ネットワークゾーンレコード処理セクションがインポートプロファイルの [正規化と検証] タブに表示されます。

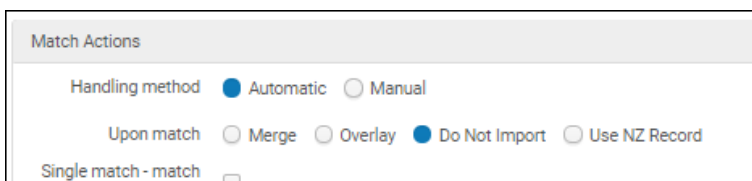


The screenshot shows the 'Normalization & Validation' tab with several sections: 'Filter', 'Normalization', 'Validation Exception Profile', and 'Network Zone Records Handling'. The 'Network Zone Records Handling' section is highlighted with a red box and contains the 'Import local extensions' option, which is currently set to 'No'.

ネットワークゾーンレコード処理セクション

[ローカル拡張機能をインポート] パラメータを使用して、ローカルフィールドをインポートできます。レコードをインポートする際、[はい] オプションを選択してローカル拡張機能を追加、統合、またはオーバーレイします。これが適用されるローカルフィールドについては、上記を参照してください。いいえオプションを選択すると、レコードをインポートする際にローカル拡張機能に影響がありません。デフォルトのオプションはいいえです。

ローカル拡張機能をインポートするパラメータをはいに設定してローカル拡張機能をインポートする際、システムは、[プロファイルに一致させる] タブで統合およびオーバーレイアクションをどのように処理するのかを決めるのに選択した一致アクションを使用します。



The screenshot shows the 'Match Actions' section with the following settings: 'Handling method' is set to 'Automatic'. Under 'Upon match', 'Do Not Import' is selected. There is also a 'Single match - match' checkbox which is currently unchecked.

一致アクションセクション

[NZに追加] オプションを ([一致プロファイル] タブで) [一致しない場合] に選択すると、システムは [ローカル拡張機能

をインポートする]パラメータが[はい]になっており、一致なしの場合にローカル拡張機能フィールドを追加します。

No Match ▼

Upon no match Add To NZ Do Not Import Import To IZ

一致しないセクション

詳細については、「[インポートプロファイルの管理](#)」を参照してください。

MARC 21書誌正規化ジョブを使用したローカルフィールドの管理

MARC 21書誌正規化ジョブを使用して、9XXフィールドなどのローカルフィールドを含むネットワークゾーンにリンクされたレコードを正規化できます。このジョブは、ローカルフィールドのみに変更(追加、アップデート、または削除)を行い、それらを機関ゾーンに保存します。これらはローカルの変更であるため、ネットワークゾーンまたは他のメンバーには配布されません。

この機能は、ネットワークゾーンにリンクされているレコードの正規化drool(正規化プロセスの一部)の機能を拡張します。正規化プロセスには、[プロファイルの詳細]ページの[正規化プロセス]タブでアクセス/追加できます（「[目録の設定](#)」を参照）。

Active	Name	Description	Contributed by	
<input checked="" type="checkbox"/>	Add BIB to Collection	Add BIB to collection	-	...
<input checked="" type="checkbox"/>	Marc21 Bib Initial Normalization	Initial normalization for Marc21 Bib record	-	...
<input checked="" type="checkbox"/>	Marc21 Bib normalize on save	Normalize Marc 21 Bib while saving	-	...
<input checked="" type="checkbox"/>	Marc21 Bib Re-sequence	Marc21 Bib Re-sequence	-	...
<input checked="" type="checkbox"/>	Marc21 Bib Re-sequence And Clear empty fields	Marc 21 Bib Re-sequence and clear empty fields	-	...
<input checked="" type="checkbox"/>	Remove Vendor Data 856	Remove vendor data by 856 field from MARC xml	-	...
<input checked="" type="checkbox"/>	Remove Vendor Data 949	Remove vendor 949 field from MARC	-	...

MARC 21書誌プロセスの[正規化]タブ

バッチジョブを実行して、ネットワークゾーンにリンクされたレコードのローカル拡張機能をグローバルに変更するには：

1. メタデータエディタで、正規化ルールを作成します。[正規化ルールの操作](#)を参照してください。

Note

ネットワーク管理レコードの場合、正規化ルールは共有データフィールドでのみ実行されます。

2. [メタデータ設定リスト]ページ（[設定メニュー]>[リソース]>[目録]>[メタデータ構成]）で、目的の形式を選択し、ネットワークゾーンにリンクされたレコードにローカル拡張機能を追加するための正規化プロセスを作成します。[正規化プロセスの操作](#)を参照してください。
3. アップデートするレコードのセットを作成/保存します。
4. 正規化ジョブを実行します。ジョブの名前は、作成した正規化プロセスに基づいており、定義済みセットで実行できるマニュアルジョブのリストに表示されます。[定義済みセットでの手動ジョブの実行](#)を参照してください。

コミュニティゾーンにリンクされた電子レコードの収集

[CN/NZメンバータスクからCZレコードのインポート]ジョブによって、ネットワークゾーンのメンバーからコミュニティゾーンにリンクされた電子レコードを収集し、これらのレコードをコミュニティゾーンにリンクされたものとしてネットワークゾーンに表示できます。詳細については、「[CN/NZメンバータスクからCZレコードをインポート](#)」を参照してください。

ネットワーク収集レポート

ネットワークゾーンレコードにリンクされている機関の書誌レコードは、ネットワークゾーンで行われる修正で自動的にアップデートされます。Almaは、これらのレコードのすべてのアップデート、削除(削除されたリソースへのリンク)、およびエラーのリストを表示する詳細なネットワーク収集レポートを提供します。

ネットワーク収集レポート([[リソース管理](#)] > [[在庫の管理](#)] > [[ネットワーク収集レポートリスト](#)])は、すべてのネットワークメンバー機関で利用可能であり、5分ごとに更新されます。各リソースには次の情報が含まれています。

- リソースID
- ネットワークでの操作のタイプ(アップデート、削除、エラー)
- 操作を実行したメンバー機関のID
- 操作の日付

ネットワークゾーンでのテンプレートの作成

GNDとBARE

GNDとBAREのネットワークゾーンで作成されたテンプレートは、メンバー機関のテンプレートリストに自動的に表示され、ネットワークゾーンアイコンで識別されます。

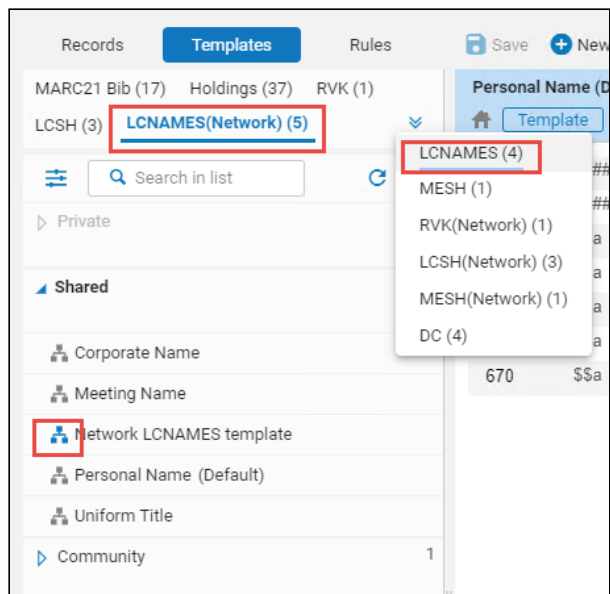
ネットワークゾーンに **GND/BARE ?**限レコードテンプレートを作成するには、次の手順に従います。

- MDエディターを開き、必要なフィールドを使用して権限レコードを作成し、テンプレートとして保存を選択します。保存したテンプレートは、ネットワークゾーンおよびメンバー機関の[テンプレート]タブに表示されます。
 - ネットワークゾーンでは、テンプレートがローカル機関のアイコンとともに表示されます。
 - メンバー機関では、同じテンプレートがネットワークゾーンアイコンとともに表示されます。

テンプレート作成の詳細については、「[レコードテンプレートの使用](#)」を参照してください。

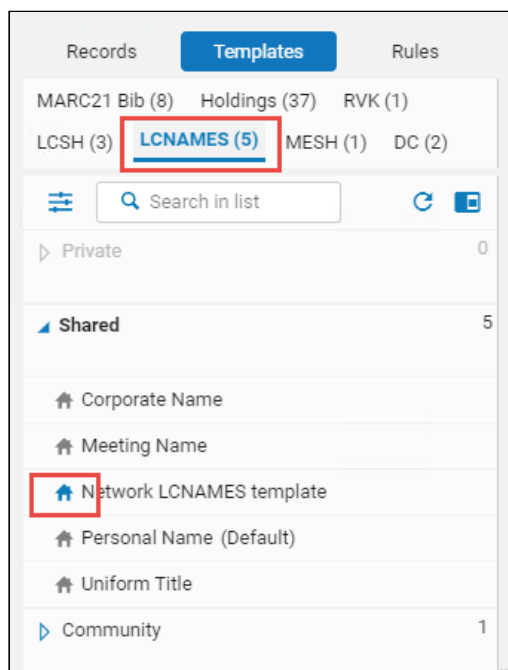
その他の権限テンプレート

ネットワークでローカルに管理された権限レコード用に作成された他のテンプレート(LC名、LC主題など)は、同じローカル権限レコードを利用するメンバー機関で自動的に利用できるようになります。メンバー機関の[テンプレート]タブの下に、追加のサブタブフォルダが表示されます。同じ名前前に「(ネットワーク)」という単語が追加されています。これには、共有フォルダのネットワークで作成されたテンプレートが含まれています(共有フォルダで提供されているすぐに使用できるテンプレートも含まれます)。



メンバー機関が利用できるネットワーク管理およびローカル管理のテンプレート

ネットワークゾーンでは、同じ方法で引き続きテンプレートが作成され、異なるアイコンにより、ネットワーク内でローカルに作成されたテンプレートとすぐに使用できるテンプレートを区別することができます。



ネットワークでローカルに作成されたテンプレート

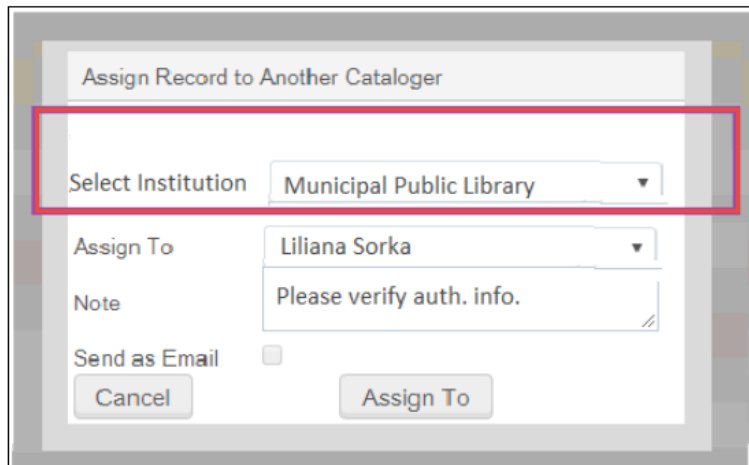
テンプレート作成の詳細については、「[レコードテンプレートの使用](#)」を参照してください。

ネットワークゾーン目録レコードを別の機関の目録作成者に割り当てる

別の機関にレコードを割り当てるには：

1. MDエディタで、ネットワークゾーンレコードを編集/表示し、（【レコードアクション】メニューの）【レコードを

別の目録者に割り当てる]を選択します。
 [レコードを別の目録者に割り当てる]ダイアログボックスが開きます。



2. ダイアログボックスに次の情報を表示します。

フィールド	説明
機関を選択	ネットワークメンバー機関を選択します。
割り当て先	レコードを割り当てるユーザーを選択します。 表示されるユーザーのリストには、ネットワークのすべての機関で次の役割を持つユーザーが含まれています：目録管理者、目録マネージャー、目録者、拡張。
メモ	必要に応じて、メモを書きます。すべてのユーザーがメモを表示できます。
Eメールとして送信	上記に加えて、担当者ユーザーにEメールを送信する場合に選択します。 このオプションが選択されていない場合、レコードは、他のすべての「割り当て済み」レコードとグループ化されて、担当目録者の開いているレコードのリストに表示されます。

3. 「割り当て先」を選択します。

書誌および機関のネットワークゾーンレコードを操作する場合、NZレコードをネットワークゾーン内の別の機関の目録者に割り当てることができます。この機能を有効にするには、ネットワークゾーン環境で顧客パラメータ `enable_nz_record_assignment` をTrueに設定します。このパラメーターは、Almaネットワークゾーン環境でのみ使用できます。これは、ネットワークがそのすべてのメンバーに対してこのポリシーを設定することを意味します。

Note

NZレコードを別の機関の目録者に割り当てる機能は、新しいメタデータエディタでのみ使用できます。